令和 4 年度事業 事後評価・決算 **事務事業マネジメントシート**

令和 5 年 6 月 1 日作成

事務事業名	市道宍道線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系 政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち≪定住環境≫	所属G	道路改良G	課長名	松村 直樹
施策名	〈12〉道路の整備	担当者名	村上 誠	電話番号	0854-40-1063
				（内線）	2473
目的 対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
基本事業	〈034〉道路の新設・改良				
目的 対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。		

予算科目	会計	款	大事業	大事業名
	01	40	03	市道道路整備事業
	項	目	中事業	中事業名
	10	15	03	起債道路整備事業

1 現状把握【DO】

（1）事務事業の概要

① 対象（誰、何を対象にしているのか）	② 意図（対象がどのような状態になるのか）
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。

③ 事業内容（期間限定複数年度事業は全体像を記述）

事業期間	
□ 単年度のみ □ 単年度繰返（ 年度～ ） ■ 期間限定複数年度 （ R元 年度～ R4 年度 ）	本路線は、大東町幡屋地内の生活路線の改良事業であり、勾配が急でカーブも多く一般車両の視距が悪く、また緊急車両の通行も困難なことから、拡幅改良を行う。 整備延長 L=298m 幅員 W=5.0m

④ 主な活動 R4年度実績（R4年度に行った主な活動）	⑤ これまでの改革・改善経緯 （この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか？）
・道路改良工事 ・舗装工事 （R4事業完了）	設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めている。 砂防河川が近接していることから、事前に県協議を行い設計条件に反映させた。

（2）事務事業の指標

	成果指標	単位	R2年度（実績）	R3年度（実績）	R4年度（実績）	R5年度（計画）
ア	整備率（供用延長／整備計画延長）	%	0.0	29.0	100.0	
イ						
ウ						
エ						

（3）事務事業のコスト

① 事業費の内訳（R4年度決算）

【地方債】合併特例債
（工事費）：29,878千円
（事務費）： 709千円
（合 計）：30,587千円

② コストの推移

		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
財源内訳	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	9,300	32,500	29,000	
	その他	千円				
	一般財源	千円	704	1,774	1,587	
事業費計		千円	10,004	34,274	30,587	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	改良工事により、計画区間の工事を順調に終え線形が改良された。舗装工事も完了し、予定区間の施工が全線完了し安全安心な通行が可能となった。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。